

経済情勢

2014年10月

在コロンビア日本国大使館

E-mail : info@ba.mofa.go.jp

I 概要

- DANE（国家統計庁）は2014年第2四半期の実質GDP成長率が前年同期比+4.3%、並びに2014年前期の実質GDP成長率が前年同期比+5.3%となった旨発表した。
- 8日から12日までの日程で、東京において日・コロンビアEPA交渉第7回会合が行われた。
- 11日、アルバレスーコリア商工観光大臣は、対韓国FTA法案が議会上程された旨発表した。

II 主な出来事

<国内情勢>

（1）経済見通し（16日及び17日、プレスリリース及び当地紙報道）

DANE（国家統計庁）は、2014年第2四半期の実質GDP成長率が前年同期比+4.3%、並びに2014年前期の実質GDP成長率が前年同期比+5.3%となった旨発表した。

サントス大統領は2014年全体の経済成長率が4.5%から5.0%の間になるであろう旨述べた。

（2）国際競争力（3日、当地紙報道）

世界経済フォーラムの国際競争力レポートによれば、情報通信技術、港湾整備及びマクロ経済の改善により、コロンビアの国際競争力は2013年から3つ順位を上げて66位となった。

（3）税制改革（11日、当地紙報道）

カルデナス財務・公債大臣は、保有資産にかかる税率を現行の1.5%から2.25%に増税する方向で調整中であると明言した。

（4）2014年－2018年開発計画の策定（30日、当地紙報道）

2015年2月が提出期限である第2次サントス政権の開発計画は、経済成長率目標を年4.5%から6.0%の間に設定すること、インフラ整備、国際市場における競争力強化及び農業改革に重点が置かれる見込みである。

（5）対内直接投資（13日、当地紙報道）

中銀は、2014年8月までの対内直接投資が105.74億ドルで、前年同期比▲8.4%と発表した。

（6）企業動向：日野自動車（15日、当地紙報道）

日野自動車は新ハイブリッド車両を発表した。同車両は環境に配慮されたものであるため、税制優遇措置が受けられる。

<対外経済関係>

（1）対ノルウェーFTA関連（2日、当地紙報道）

1日、2008年に署名された対EFTA・FTAのうち、対ノルウェーFTAが発効した。

(2) 対韓国FTA関連(12日、当地紙報道)

11日、アルバレスーコリア商工観光大臣は、対韓国FTA法案が議会上程された旨を発表した。

(3) 対日EPA関連(9日、10日、15日及び18日、プレスリリース及び当地紙報道)

8日から12日までの日程で東京において日・コロンビアEPA交渉第7回会合が実施された。同会合では、農業分野のマーケットアクセス、原産地規則、貿易救済、貿易に関する技術的障害、政府調達、電子商取引、協力、貿易と持続的発展、知財、制度的事項について交渉が行われた。

アルバレスーコリア商工観光大臣は、「第7回会合は成功裡に終了した。世界第3位の経済規模を持ち、大量の農作物を輸入している日本市場へのアクセスが可能となること、並びに日本は世界各国に多くの投資をしている国の一つであることから、同EPA交渉は重要なものである」と協調した。

(4) 太平洋同盟(12日、プレスリリース)

11日、アルバレスーコリア商工観光大臣は、太平洋同盟の通商議定書(92%の関税をゼロにする議定書)が議会上程された旨を発表した。

(5) OECD(16日、当地紙新聞)

OECDのミッションがボゴタを来訪し、コロンビアのOECD加盟に向けて労働政策や社会問題等について調査する予定である。

<経済指標>

(1) 経済活動全般

(ア) 実質工業生産指数(DANE発表)

7月の実質工業生産指数(コーヒー豆加工を除く)は前年同月比1.6%であった。

(イ) 実質小売売上高指数(DANE発表)

7月の実質小売売上高指数は前年同月比+5.2%であった。

(ウ) 消費者信頼感指数(Fedesarrollo発表)

8月の消費者信頼感指数(ICC)は、20.0%と前月(26.7%)を6.7%ポイント下回った。また、前年同月比では6.6%ポイント上昇した。

(2) 産業動向

(ア) 原油生産量(鉱山・エネルギー省発表)

8月の原油生産量は日量99.9万バレルであり、前年同月比▲3.1%となった。前月比+3.2%であったが、2ヶ月連続で100万バレルを下回っている。

(イ) コーヒー

(i) 生産(コーヒー生産者連盟(FNC)発表)

FNC加盟コーヒー生産者による8月のコーヒー生産量は115.1万袋(1袋=60kg)となり、前年同月比で49.5%増加した。

(ii) 価格(国際コーヒー機関発表)

9月のコロンビア産マイルド・アラビック・コーヒーの価格は月平均1ポンド=2.07ドル（前月は同2.12ドル，前年同月は同1.34ドル）であった。

（3）物価・雇用（DANE 発表）

（ア）物価

8月の消費者物価上昇率は+3.02%（前年同月比，以下同），生産者物価上昇率は0.69%であった。

（イ）雇用

8月の全国平均失業率は8.9%と，前年同月の9.3%より0.4ポイント改善した。また，主要13都市の平均失業率は9.5%と，前年同月の10.3%より0.8ポイント改善した。

（4）貿易収支（DANE 発表）

7月の貿易収支（FOB）は，7.79億ドルの赤字であった。輸出（FOB）全体では，前年同月比+8.6%の50.48億ドル，輸入（CIF）全体では，前年同月比+19.0%の60.84億ドルとなった。

2 主な経済指標

別添参照。

Ⅲ 主な経済指標

(1) 経済活動指数 (単位：%，出所：DANE)	2013/7	2014/5	2014/6	2014/7
(ア) 実質工業生産指数 (前年同月比)	0.2	2.0	▲0.6	1.6
(イ) 実質工業売上高指数 (同)	1.3	0.4	▲2.4	1.1
(ウ) 実質小売売上高指数 (同)	5.4	8.1	2.2	5.2
(エ) 新規建設着工承認面積 (単位：万㎡)	179.4	228.9	186.5	267.6
(2) 失業率 (単位：%，出所：DANE)	13/8	14/6	14/7	14/8
(ア) 全国平均	9.3	9.2	9.3	8.9
(イ) 主要13都市平均	10.3	10.7	9.9	9.5
(3) 消費者物価上昇率 (単位：%，出所：DANE)	13/8	14/6	14/7	14/8
(ア) 前月比	0.08	0.09	0.15	0.20
(イ) 前年同月比	2.27	2.79	2.89	3.02
(4) 政策金利 (単位：%，出所：中央銀行)	13/9	14/7	14/8	14/9
	3.25	4.25	4.50	4.50
(5) 為替 (対ドル為替レート) (単位：ペソ，出所：中央銀行)	13/9	14/7	14/8	14/9
(ア) 月初	1,935.43	1,881.19	1,878.75	1,918.62
(イ) 月末	1,914.65	1,872.43	1,918.62	2,028.48
(ウ) 最高値	1,952.11	1,881.19	1,935.04	2,028.48
(エ) 最安値	1,887.30	1,846.12	1,873.65	1,918.62
(6) 株式指数COLCAP ※2013年10月以前はIGBC指数 (単位：ポイント，出所：COLCAP)	13/9	14/7	14/8	14/9
(ア) 月初	13,742.26	1,705.14	1,693.06	1,776.76
(イ) 月末	14,061.02	1,694.59	1,771.18	1,665.70
(ウ) 最高値	14,170.10	1,714.94	1,771.18	1,780.25
(エ) 最安値	13,735.49	1,673.99	1,693.06	1,665.70
(7) 貿易 (単位：百万ドル，出所：DANE)	13/7	14/5	14/6	14/7
(ア) 輸出額 (FOB)	4,650.0	5,486.1	4,672.5	5,048.8
(イ) 同 年内累計	33,937.6	23,291.3	27,973.5	33,048.1
(ウ) 輸入額 (FOB)	4,871.0	5,138.7	4,736.5	5,828.2
(エ) 同 年内累計	32,348.6	24,425.8	29,162.3	34,961.1
(8) 労働者送金 (単位：百万ドル，出所：中央銀行)	13/7	14/5	14/6	14/7
	367.2	298.3	274.1	314.1
(9) ガソリン価格 (単位：ペソ，出所：鉱山・エネルギー省)	13/9	14/6	14/8	14/9
注：ポゴタのレギュラーガソリン1ガロン当たり	8,646	8,723	8,727	8,748
(10) 自動車販売台数 (単位：台，出所：ECONOMETRIA)	13/8	14/6	14/7	14/8
(ア) 単月	23,636	23,742	28,459	27,658
(イ) 年内累計	189,206	148,647	177,106	204,764

(了)